

- 重要土壌病害に効果を発揮し、高品質な収穫をサポート。
- やけ・しみ・あざによる品質劣化を防ぎ、秀品率の向上に貢献。
- 粒剤だから散布しやすく、ドリフトも少ないため安心。

農林水産省登録 第22833号 有効成分:アゾキシストロピン…2.0%、メタラキシルM…1.0%

適用  
拡大

■適用病害の範囲及び使用方法

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数	メタラキシル及びメタラキシルMを含む農薬の総使用回数
みょうが(莖葉)	根茎腐敗病	18kg/10a	みょうが(花穂)の収穫30日前まで、但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで	2回以内	土壌表面散布	4回以内(粒剤は2回以内、水和剤は2回以内)	2回以内
みょうが(花穂)			収穫30日前まで	3回以内	定植前作条土壌混和又は生育期土壌表面散布	3回以内	3回以内
しょうが			収穫21日前まで		土壌表面散布		
菜しょうが							
こんにゃく	根腐病	9kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	1回	1回
	白絹病		培土時				
ホップ	べと病	10~20g/株	株ごしらえ時~選芽期				
ピーマン	疫病	3g/株	収穫前日まで	3回以内	株元散布	4回以内(粒剤は3回以内)	4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
とうがらし類(しとうを除く)				1回		1回	1回
ししとう				3回以内		4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)	
パセリ			12kg/10a	収穫21日前まで		3回以内	4回以内(粒剤は3回以内、水和剤は1回以内)
オクラ	苗立枯病	9~18kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	3回以内(粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	5回以内(種子への処理は1回以内、は種前の土壌混和は1回以内、は種後は3回以内)

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数	メタラキシル及びメタラキシルMを含む農薬の総使用回数
にんじん	しみ腐病	9~18kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	3回以内(粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	2回以内(種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内)
みずな	白さび病	9kg/10a	は種時又は定植時				
こまつな			は種時				
かぶ			定植時				
チンゲンサイ							
タアサイ							
だいこん		6~9kg/10a	は種時		4回以内(粒剤は1回以内、水和剤は3回以内)		
ほうれんそう	べと病	9kg/10a	は種時		1回	2回以内(種子への処理は1回以内、は種時は1回以内)	
べにばいんげん	茎根腐病	1g/株	定植時		株元散布	3回以内(粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	1回
たばこ	疫病	6~9kg/10a	大土寄期		作条土壌混和	5回以内(粒剤は1回以内、水和剤は4回以内)	2回以内(種子への処理は1回以内、は種後は1回以内)
		6kg/10a	移植前				
せり	葉腐病	3kg/10a	収穫21日前まで		湛水散布	2回以内	2回以内
くわい	茎腐病		生育期	2回以内		2回以内	2回以内
しちとうい	べっこう病					5回以内(粒剤は1回以内、水和剤は4回以内)	5回以内(種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
ねぎ	白絹病	9kg/10a	土寄せ時但し、収穫90日前まで	1回	株元土壌混和	5回以内(粒剤は1回以内、水和剤は4回以内)	5回以内(種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
花き類・観葉植物	立枯病(リゾクトニア菌)	18kg/10a	定植時又は生育期	3回以内	土壌表面散布	5回以内	4回以内(但し生育期は3回以内)

■使用上の注意事項

- ① 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- ② ピーマンおよびとうがらし類に使用する場合は、使用量・使用方法を誤ると葉が黄化する等薬害を生ずるので、使用量・使用方法を厳守してください。また、定植時~定植後3週間までの使用はさけてください。
- ③ だいこんに使用する場合は、施設内で使用すると葉が黄化する薬害を生ずるので、使用しないでください。
- ④ ホップに使用する場合は、本剤が直接根株に触れたり、また、本剤を株の真上に散布すると、薬害を生ずるので、株のまわりに均一に散布してください。
- ⑤ せり、くわい、しちとういに使用する場合は、湛水状態を保ち、散布後少なくとも7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- ⑥ つまみ菜、間引き菜には使用しないでください。
- ⑦ 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

- ⑧ 本剤の連続使用によって、薬剤耐性菌が出現するおそれがあるので、連用をさけ、作用性の異なる他の薬剤と組み合わせで輪番で使用してください。
- ⑨ 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- ⑩ 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の指示を受けてください。
- ⑪ 使用の際は農業用マスクなどを着用してください。作業後はうがいをしてください。
- ⑫ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- ⑬ 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚場では使用しないでください。
- ⑭ 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- ⑮ 散布後は水管理に注意してください。
- ⑯ 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋は圃場などに放置せず適切に処理してください。

シンジェンタ ジャパン株式会社

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワー-X21階  
[ウェブサイト] <http://www.syngenta.co.jp>



スキのない  
美菜づくりに。

葉しょうが  
オクラ  
ねぎ  
適用拡大

高品質な野菜づくりに

土壌病害から守る

高品質な収穫を  
サポートする殺菌剤。



 ユニフォーム<sup>®</sup>  
粒剤

syngenta.

シンジェンタ ジャパン株式会社

農薬をご使用の際は、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の登録内容をご確認ください。

®はシンジェンタ社の登録商標  
TMはシンジェンタ社の商標

TM